

# ロボ「ペッパー」用アプリ

## DenCubic 研修など説明役に

パソコンの保守事業を手がけるDenCubic（デンキュービック、松山市）はソフトバンクのヒト型ロボット「ペッパー」で使えるアプリを開発した。企業の研修や学校の授業などの説明役として、ペッパーを使うニーズに対応する。パソコンの保守で培ったノウハウを生かし、事業領域を拡大する。アプリはそれぞれの企業ごとに仕様を変える。ペッパーの貸与とアプリ開発を一括で引き受けることも可能。短期間の利

用にも対応する。アプリの開発費用は10万円から。美術館や図書館での案内係としての利用を見込む。DenCubicによると、ペッパー向けのアプリ開発は四国4県では珍しいという。ロボット関連の市場が拡大していることを見込み、研究開発に取り組む。